

特集

図書館書庫って どんな場所？ … 2

あなたのまちの図書館めぐり

松江市立島根図書館

松江市立東出雲図書館 …… 4

益田市立美都図書館

松江工業高等学校図書館 …… 5

図書館の上手な使い方。

防災について調べよう …… 6

オンラインデータベースの充実について

図書貸出カード更新手続きのお願い

特別整理休館のおしらせ …… 8



との縁結び

島根県立図書館報

<http://www.library.pref.shimane.lg.jp>

図書館だより

2016

第205号

2016年9月20日発行



県立図書館と堀川遊覧船



図書館書庫って どんな場所？

島根県立図書館は、およそ70万冊の図書(雑誌や新聞を除く紙媒体の本のこと)を所蔵しています。そのうち、第1・第2一般資料室やこども室など、利用者の皆さんが自由に出入りできる場所に保管されている図書は、18万冊程度に過ぎません。

それでは、残りの約52万冊の図書は、どこにあるのでしょうか？

実は図書館の1階と地下には大きな書庫があって、そこに50万冊以上の図書や雑誌などが保管されているのです。

今回は、普段は入ることのできないこの書庫の様子を紹介します。

電気で動く本棚

1階の書庫には、主に古い新聞や雑誌、哲学や文学分野の図書などが収納されています。雑誌や新聞の中には、20年、30年という長期にわたって保管されているものも多く、それだけでかなりの量になります。

1階の書庫の特徴はなんといっても電動書架。

その名のとおり電気で動く書架(本棚)のことで、通常の固定式書架よりも多くの図書や雑誌を収納することができます。



電動書架 使用しない通路の空間を省くことで、大量の本が収納できるすぐれもの。

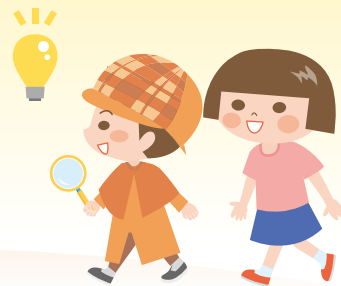
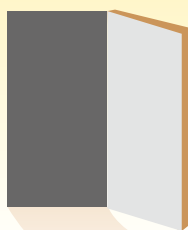
地下書庫は夏にぴったり？



地下書庫の様子 耳を澄ますと空調設備の動く音が聞こえます。

1階の書庫のさらに奥、薄暗い階段を下りたその先に、地下書庫は広がっています。地下1階と地下2階、それぞれ726㎡ずつの空間に、ズラリと書架が立ち並んでいて、それらすべてに溢れんばかりに本が詰めこまれています。本というのは温度や湿度の変化に非常に弱いので、書庫の中では常に空調が作動しています。おかげで、夏場の暑い時期に書庫に行くと、ひんやりとした心地よい風を肌に感じることができます。

書庫の中は基本的に消灯されていて、太陽光が入ってくることもないため、真っ暗闇が広がっています。音が響きやすく、ゆっくり歩くとカッーン、カッーンと足音がして、その雰囲気はまるでお化け屋敷のよう。そういう意味でも、地下書庫は夏場にぴったりかもしれません。



図書館の書庫にはどんな本が入っているの？

書庫に入っている本のほとんどは、出版後一定以上の期間が経過した本です。新しい本は利用者さんが自由に手にとって読むことのできる、第1・第2一般資料室やこども室などに置いていますが、それらの部屋に置ける本の数にも限界があるので、古くなった本は書庫にしまっているのです。

たとえば小説の場合、おおむね10年以上前に出版された本は、書庫に保管しています。



子どもたちの 図書館見学

「図書館には何冊の本があるでしょう？」
「図書館では毎日何冊の本が貸し出されているでしょう？」

県立図書館の司書から出されるクイズに子どもたちが答えています。

左の写真は、小学生を対象に開催された図書館探検ツアーの様子を写したものです。

真っ暗な地下書庫、動く書架…ふだん見ることのできない県立図書館の裏側を見て、子どもたちも大興奮でした。

図書館の書庫を見学するには？

1年に1度、秋の読書週間の時期に、館内を見学できるイベントを開催しています。
また、幼稚園や小学校等の団体であれば、館内見学を随時受け付けています。
見学を希望する団体は、事前に下記の連絡先までご相談ください。

連絡先

・大人の団体の場合

島根県立図書館資料情報課

TEL: 0852-22-5733

・小学生以下の団体の場合

島根県立図書館子ども室

TEL: 0852-22-5746



あなたのまちの図書館めぐり

島根県立図書館の職員は、県内市町村の図書館などを各館年2～3回訪問して、スタッフの方に直接お会いして情報交換を行っています。その地域の特徴や暮らす人々を知り、島根県の図書館全体が活性化するように、ネットワークづくりに努めています。

松江市立島根図書館「ゆっくりリラックスできる図書館」



島根半島の美しい海岸風景を望める加賀港からほど近いところに位置する島根公民館。この公民館に併設されているのが、松江市立島根図書館です。館内はワンフロア構造になっていて、隅々まで明るい光が行き届いています。図書館の近隣には小中学校があり、小中学生と多くの交流があります。

季節感を大切にした図書館で、入り口の壁面には、その季節に応じた飾り付けがされ、来館者の眼を楽しませてくれます。この記事の取材時(6月16日)には、紙で作られた紫陽花の花を見ることができました。

また、たなばた会やクリスマス会といったイベントは、毎回公民館と共同で開催していて、親子連れをはじめと



する多くの参加者でにぎわうそうです。

職員の西尾さんは「リラックスできる空間を目指しています。ゆったりとした空気の中で、読書を楽しんでほしいです。」とにこやかに語ってくださいました。

【松江市立島根図書館】

開館時間：9時～18時

休館日：毎週火曜日、毎月最終金曜日、年末年始
貸出冊数：10冊まで

松江市立東出雲図書館「笑顔あふれる明るい図書館」

松江市立東出雲図書館は、東出雲ふれあい会館との複合施設です。決して大きな図書館ではありませんが、館内には限りある空間を埋めるように、ずらりと本が並べられています。特に時代小説の所蔵量は多く、利用者さんからは大人気。県内の他の図書館からも貸出の依頼があるそうです。

館内には定期的に工作スペースが開設されていて、カウンターの職員に申し出ることで、いつでもその季節に応じた工作をすることができます。この記事を書くために東出雲図書館取材した6月16日は、父の日直前ということで、お父さんに送るためのメッセージカード立てを作れるようになっていました。

職員の小村さんに東出雲図書館の魅力について伺ったところ「フレンドリーな雰囲気が当館の魅力です。職員と顔見知りの利用者さんが多く、いつも笑顔であいさつを交わしています。」とおっしゃっていました。



【松江市立東出雲図書館】

開館時間：9時～18時

休館日：毎週火曜日、毎月最終金曜日、年末年始
貸出冊数：10冊まで

益田市立美都図書館 「身近で親しまれる図書館」



複合施設「ふれあいホールみと」の2階に美都図書館があります。施設のすぐ傍に山があるため、図書館の窓からは豊かな緑が見えます。

図書館に入るとすぐに児童コーナーがあり、奥側には床を高くした一般コーナーがあります。入口側には低い書架が向きを揃えて配置しており、すっきりとした印象を与えます。奥行のある図書館ですが、段差のおかげで入口から館内を見渡すことができます。

美都図書館は郷土の偉人や地元ならではの情報など地域にこだわった展示を行っています。

また美都地域の公民館へ配本サービスを行っていて、図書館から遠い地区に住む人も近くの公民館を訪れさえすれば、本を借りたり返却する

ことができます。

司書と利用者との距離が近いのが特徴で、気軽な会話から読み聞かせに良い本やおススメ本を教えて欲しいなどといった話へと繋がっていきます。

今年1月におこった給水管破裂による浸水で臨時休館した時には、報道を見て心配した利用者が復旧作業を手伝いに来てくれました。これも、日頃から親しまれている図書館だからこそです。

自然豊かな美都図書館へ一度足を運んでみてはいかがでしょうか。



【益田市立美都図書館】

開館時間：9時～17時

休館日：毎週月曜日、祝日、月末館内整理日、年末年始

貸出冊数：全館あわせて10点まで(そのうちAV資料は5点まで)

松江工業高等学校図書館 「生徒の手によって成長する図書館」

松江工業高校は、建築・土木、機械、電気、情報などの専門技術を学ぶことができる学校です。図書館では工業高校で学ぶ生徒ならではの力作を数多く見ることができます。

館内には、卓上掲示板やプランターボックス、飾り机等の生徒作品を使って本を展示してあります。図書返却ポストや入館者数を数えるカウンター機器も生徒が作ってくれたものです。また、電灯を掃除したり、電気スイッチの交換といった館内整備にも協力してくれます。

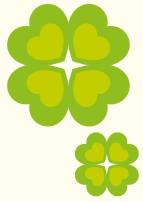
先生も生徒も図書館に理解があるからこそ、図書館へと繋がりができているのだと思います。

理解される理由は、図書館活用教育が盛んに行われていることにあります。ホームルームの時間を使った図書館利用や、「絵本の読み聞かせ」

を通した国語科と家庭科の連携授業などが挙げられます。これらの図書館活用教育は、生徒の学生生活を豊かにするだけではなく、社会人になった後も生きるものだと感じました。

これからも生徒の手によって松工図書館は成長していくのでしょう。





防災について調べよう

～いざという時を考えるための図書館編～

今年の4月14日から16日にかけて、九州で大地震があり、熊本県を中心に大きな被害が出ました。これらの災害は、次にいつ、どこで起こるか分かりません。常日頃から災害に備え、また災害が起こった時にどう行動すべきかを考えておかななくてはなりません。

今回は、県立図書館が所蔵している防災についての本の内から、ぜひ読んでいただきたいものを紹介します。

子ども向け

小学校
低学年～



『どこがあぶないのかな? ④ぼうさい』
(危険予測シリーズ)

渡邊正樹／監修 少年写真新聞社 2015年

災害の場面ごとに、対策を一言で紹介。
親子で読みたい防災の本。

『子どものための防災BOOK
72時間生きぬくための101の方法』

夏緑／著 童心社 2012年

地震・火事・天候災害・外出先での災害など、様々な
場面で災害直後から三日間の間に取るべき対応を
説明する。事前の防災についても詳しい。



小学校
高学年～

中学生～



『12歳からの被災者学
阪神・淡路大震災に学ぶ78の知恵』

土岐憲三ほか／監修 NHK出版 2005年

阪神大震災の経験から、地震後の生活や事前の
備え、被災地への支援までQ&A形式で説明して
いる。

他にも...

『子ども地震サバイバルマニュアル』国崎信江／著 河田恵昭／監修 ポプラ社 2006年

『みんなの防災事典 災害へのそなえから避難生活まで』山村武彦／監修 PHP研究所 2015年

『3.11が教えてくれた防災の本』(全4巻)片田敏孝／監修 かがわ出版 2012年

などがあります。

すべての県民の皆さんに県立図書館の資料を利用してもらうため、市町村の図書館などを
通して資料の貸出を行っています。

県立図書館に求める資料があるかどうかは、インターネットの蔵書検索（県立図書館HP）や、
電話での問い合わせ、またはお近くの市町村図書館までおたずねください。

図書館の上手な使い方。



一般向け



『災害支援手帖』

荻上チキ／著 木楽舎 2016年

災害支援のヒント集。被災者を助けた、本当に役立つ実例が盛りだくさん。



『「もしも」に備える食』

石川伸一・今泉マユ子／著 清流出版 2015年

備蓄食品だけで震災時を乗り切るレシピを紹介。食の備えの必要性もわかる。



『自分と家族を守る防災ハンドブック』

アーサー・ブラッドレー／著 楽工社 2014年

地震、洪水、放射能漏れ…
本気で備える人のためのガイドブック。



『災害に強いライフプランニング』

(株)ノースアイランド／監修 近代セールス社 2011年

災害に強いライフプランを立てるために知っておきたい知識を、Q&A形式で解説する。

他にも...

『防災・減災・復旧 被災地からおくるノウハウ集』

毎日新聞社 2014年

『土砂災害から命を守る』池谷浩／著

五月書房 2014年

『防災・減災につながるハザードマップの活かし方』鈴木康弘／編

岩波書店 2015年

など、NDC369.3の書棚に関連図書があります。

資料を借りる方法は、島根県立図書館のHPから直接申し込む方法（遠隔地利用者図書貸出サービス）や、お近くの市町村図書館を通じて申し込む方法（相互貸借）があります。

詳しくは県立図書館HPを参照のほか、
電話でお問い合わせください。

【問合せ先】電話 **0852-22-5748**



オンラインデータベースの充実について

参考資料室・ビジネス支援コーナーで新たに市場情報評価ナビMieNa(ミーナ)島根版が使用できるようになりました。県内の地域について、町丁名単位で人口や消費規模などのエリアマーケティング情報を取得できます。

また、県立図書館では、MieNa以外にも下記のオンラインデータベースが使用できます。ぜひご活用ください。

聞蔵(きくぞう)Ⅱビジュアル	1945年から当日までの朝日新聞の記事等を検索できます。
日経テレコンⅡ	1975年4月以降の日経新聞等の記事が検索できます。
D1-Law.com	約22万件の判例要旨や、法律関係の文献情報が検索できます。
官報情報検索サービス	1947年以降の官報が検索できます。

図書貸出カード更新手続きのお願い

県立図書館では、平成28年7月20日より図書貸出カードに有効期限を設けることとしました。期限の更新にあたっては、名前と住所が確認できる書類(免許証・郵便物など)が必要です。詳しくは島根県立図書館のHPをご覧ください。

http://www.library.pref.shimane.lg.jp/?page_id=917



特別整理休館のお知らせ

島根県立図書館は、右記のとおり長期休館を予定しています。ご不便をおかけしますがよろしくお願いいたします。

1 休館期間：平成28年11月21日(月)～
平成28年12月1日(木)

(月曜日および第一木曜日の通常休館を含んでいます)

2 休館理由：蔵書点検および
図書館システムの改修のため



I N F O R M A T I O N

島根県立図書館 利用案内

- 開館時間／火～金 9時～19時(3月～10月)
9時～18時(11月～2月)
土日・祝日 9時～17時(通年)
 - 休館日／毎週月曜日(祝日の時は開館)
第1木曜日、年末年始、特別整理休館
- ※詳しくは開館カレンダーをご覧ください。

〒690-0873 島根県松江市内中原町52
TEL. 0852-22-5733(図書) / 5725(事務)
FAX. 0852-22-5728
ホームページ <http://www.library.pref.shimane.lg.jp/>

人と人との縁結び 図書館だより は、本を読む愉しみを味わえるビジュアル情報誌です。
しまねの、本・人・図書館にまつわる話題をお届けします。
皆さんの「本のある暮らし」を応援します。

島根県立図書館報
図書館だより 第205号
平成28年9月20日発行
編集・発行／島根県立図書館



島根県立図書館イメージキャラクター
ぶっくまくとしおりちゃん